

第2回ボランティア会合で出された構想(案)に関する意見のまとめ

会合後に文書でいただいた意見も含まれます。

1 推進団体の役割、目標		憲章にまとめています
1	次の世代に伝えたい宝を見つける。	
2	宝を楽しく伝える。	
3	新しい宝の創造、発掘	
4	郷土の歴史の理解と認識を深める。	
5	何でもものしり殿堂。	
6	地域住民のみならず、各地から遊びに来てくれるような行事を企画 推進する。	
7	誇れる地域づくり。	
8	郷土愛を涵養する。	
9	一地区(校区)一魅力の創世。	
10	地域住民の憩いの場をつくる。	
11	三世代のコミュニティの活性化を推進する。	
12	「宝」をすでにみせてみがいしている組織の方々を知り、コミュニケーションを図る。	
13	地域活動している方々との交流を持ち続けていき支援する。	
14	各ボランティアの方々が持っておられる物やノウハウをできるだけ多く知り、伝える。	
15	行政と地域住民との接点(中継ぎ)の役を自覚する。	
2 構成員の心構え		憲章にまとめています
1	ボランティアは楽しくやれることが基本。	
2	健康第一、楽しい活動。	
3	ボランティアさん自身が楽しく、生きがいを感じるような、元気いきいき、老い知らずが目標。	
4	P.P.Kで(ピンピンコロリ)一生を過ごせるように皆で楽しむ。	
5	やって嬉しい、生きがい、協同研究。	
6	ボランティアと言えど時間もお金もかかるので、個人の負担が重すぎないように 無理なく楽しみながらできないといけない。	
7	健康で元気。好奇心を持っている。	
8	健康第一をモットとしたい。	
9	ボランティア活動を行い多くの人に役立ち喜ばれ自分自身喜びたい。	
10	他の人が喜んでくれることで自分もうれしいエネルギーをもらえる。	
11	公平・中立・個人の利益を考えず。(市民のためと自分が楽しむために)	
12	ボランティアについて無料参加の精神。	
13	奉仕の気持ちを忘れずに。	
14	giveのみでtakeは考えるべきではない。	
15	西区を魅力ある街にしたいという気持ちを絶えず持っている。	
16	自由、わがまま。	

3 仲間との接し方		憲章にまとめています
1	何事も良い思えば進んで、また、人に声かけ仲間作る。	
2	一人はみんなの為にみんなは一人の為に。	
3	自分が楽しいことは人も楽しく、自分が嫌なことは人も嫌である。	
4	人がしてくれたことには全て感謝の気持ちを。	
5	今からつくり上げて行くものであることを十分認識しお互いの批判的発言は極力慎む。	
4 組織の理想像		憲章にまとめています
1	仲間づくりの中でも一方では人材を常に探していく。	
2	常にボランティアさんを募集する。	
3	ボランティアへの参加のよびかけ。だれでも入りやすい組織作り。	
4	次の世代の人、グループを育てやすい組織にしたい。	
5	若い人の参加の呼びかけ。	
6	様々な年代の人々に呼びかける。	
7	ボランティアの任期があったほうがよい。	
8	継続は力なり。	
9	楽しい会合の運営が重要視される。それが長続きの要点である。	
10	欠席しても「ごめん」で良しとする。	
11	参加できる時に参加すればよい。あまりガチガチのルールは作らない方がよい。長続きさせるために。ただし、情報（打ち合わせ内容などのまとめ）は共有する工夫がいる。	
12	成果や結果がホームページなどでいつでも見られたらいい。	
13	ウェブシステムが充実されれば、市民の満足度は高くなる。	
14	長期間にわたり継続していくには、生きがいを享受しかつ各人が時間的、経済的に負担とならないような方策を考える必要がある。	
15	ボランティア（社会貢献）を継続していく為には交通費等お金がかかる。労力は提供するが交通費の支給を。	
16	活動するには少々の予算金が必要、自己負担も大変だ。	
17	ボランティアと聞くと無料奉仕と考えがちであるが、長期間継続するには、弁当代、交通費など手当てできる収入面も考慮できる憲章でありたい。	
18	資金づくりの明確化。	
19	資金づくりとしてボランティアさんから会費、広告取り、バザーなどの取り組みを行う。	

5 構想への意見	意見に対する対応
<p>1 「まるごと博物館」を辞書で引くと、まるごと・・・増減することなく、元の形のままとり入れることを表す。 博物館・・・もとは生物学、鉱物学、地質学の総称である博物学の関係資料を系統的に集めて並べ、一般の人々に見せる場所 現在の情報化の時代を考えると、ちょっと「静」に感じます。もう少し「動」を持たせてみてはと思います。</p>	<p>「動」を持たせる」というご意見が、具体的にどのようなことをイメージされているのかわからないので、明確に答えられませんが、構想は、区の宝に関する情報提供と提供だけでなく、プラン2 西区で動こう」の中で、宝を活用した事業の実施を行うなど「動く」という部分について記載しております。</p>
<p>2 推進団体とネットワーク会議の関係がわかりにくい。</p>	<p>ご指摘をふまえて17ページに加筆しています。</p>
<p>3 この会の置かれた意義が、わからない点があるので位置づけが必要である。</p>	<p>ご指摘をふまえて14ページに加筆しています。</p>
<p>4 「大学」が、「宝」であるワケをわかりやすく解説する必要があると思う。特に平成17年10月、九州大学の移転がはじまり、大学と共働した活動が重要性を持ってくるので、その点の記述が必要。</p>	<p>ご指摘をふまえて1ページに加筆しています。</p>
<p>5 西区の「宝」をもっと輝かせるために」の章の各タイトルは、「宝」を「市民」「行政」がどうするか観点から、「宝を見(魅)つけよう」「宝を磨(魅学)こう」「宝を伝えよう」としたらどうか。</p>	<p>せっかくのご提案ですが、「宝を伝えよう」の部分が、宝を磨く市民の活動をネットワーク化するという内容に合致していないので、現状どおりとさせていただきます。</p>
<p>6 もっと西区の宝について具体的に場所や自然等を早く特定して構想への提案を促進するべき。</p>	<p>この構想は、多岐にわたり存在する西区の宝を、市民と行政が共働してどのようにして磨くかの方法を中心に書いております。何か特定の宝を具体的にどうするかということは記載しません。 具体的にどの宝をどうするかは、毎年度、推進団体の会合で話し合っ、決めていきます。その方が、その時々状況に応じて、機動的に活動ができると考えるからです。</p>
<p>7 具体的な提案の必要性(核心である)創造的発想の大切さ、その深化。活性化への影響(選択性と予算化実施)</p>	<p>具体的には、当面は区が管理するもので、市民からの情報提供も区に対して行われるものであるため、区の担当課は、情報提供のたびにスピーディーに判断をして、掲載可否の決定しなければなりません。将来的に、WEBの管理が区を離れると、提案いただいている内容のような展開ができるものと考えます。 WEBを活用した学校と地域のタイアップの場面では、テーマに応じて、推進団体のメンバーをはじめとして、そのテーマで活動をされている団体に学芸員としてお手伝いいただくことがありと考えております。</p>
<p>8 プラン1については、収集するお宝についてある程度の知識をもった「学芸員」のような人材が必要になってくる。(1)のWEB開設において、区民が発見したお宝は自由度を持たせることが大切だが、情報の体系化の中で学芸員さんの目で検証する必要もある。 また、(2)各種プロジェクトについても、地域・学校等とのタイアップが記述されているが、子どもたちの取り組みをサポートする「学芸員」が必要になってくると思われる。学校とのタイアップは、学校は忙しいので、早めの対応とモデル校指定などで学校全体が取り組める状況を早めに作ったほうがいい。</p>	<p>WEBについては、当面は区が管理するもので、市民からの情報提供も区に対して行われるものであるため、区の担当課は、情報提供のたびにスピーディーに判断をして、掲載可否の決定しなければなりません。将来的に、WEBの管理が区を離れると、提案いただいている内容のような展開ができるものと考えます。 WEBを活用した学校と地域のタイアップの場面では、テーマに応じて、推進団体のメンバーをはじめとして、そのテーマで活動をされている団体に学芸員としてお手伝いいただくことがありと考えております。</p>

9	<p>昔の人が住んだ環境は、自然に恵まれ、災害が少ないなど、生活がしやすく水、食糧、燃料となる木々が豊富で、外敵を恐れる心配のないところだった。しかし人が増えてくるとものの奪い合いが起こり喧嘩、争いになる。しかし、人間には知恵があり、人々のふれあい、出会いがあって、ともに楽しめる文化が生まれる。そしてそのことは一本の線に繋がる。ワークショップの3つのジャンルの宝(自然、歴史、文化)は、一本の線で結ぶことができ、市民がひとつになってこの宝を磨くことができると歴史の延長線上からそのように思っている。</p>	<p>ご意見のとおりと考えます。</p>
10	<p>西区まるごと博物館への参加の意義。市民の意見の反映が大切である。</p>	<p>ご意見のとおりと考えます。</p>
11	<p>年齢的にも、10年先を目標にするのがちょっとしんどい。短期決戦で結論を出したい。</p>	<p>推進団体が企画・実施する事業については、年度ごとに何をするのか話し合っ決定し、随時実施していきますので、その意味では短期的に一定の成果を出していけるものと考えています。そして、年度ごとの成果の積み重ねが、長期的な成果のひとつになるのではないかと考えています。</p>
12	<p>区民に対する要望も憲章に入れるべき。ウォーキングや散歩等が多くなってきたが、目に余るルール違反がある(他人の畑の野菜・花などを盗む)</p>	<p>意見9に書かれていることともつながりますが、宝を磨くことは、人々の交流の促進につながり、究極的にはその交流で顔の見える関係ができ、相互理解を深め広げていくこととなり、マナーアップにもつながっていくと考えています。憲章には、その理念を書いています。</p>
13	<p>運営の中に市民と行政の関わり方を明確に。</p>	<p>まるごと博物館構想(仮称)推進事業は行政と市民・推進団体が共働して進めていくものです。</p>
14	<p>継続するのは難しい。行政からの応援がほしい。</p>	<p>構想では、将来的には、様々な宝を活用した事業の企画・実施で培ったノウハウを活かし、より専門性や柔軟性を発揮した事業展開となるよう、行政から独立して活動をする団体に発展していくことを想定しています。そのため、行政の関わりは段階的に小さくなっていきます。</p>
15	<p>創生期はみんなのパワーがあり盛り上がるが、年月が経つと活動停滞が懸念される。</p>	<p>活動が停滞しないように、無理のない形で堅実に小さなものでも成果を積み重ねていくように進めていければと考えております。また、誰でも参加できる組織づくりも必要と考えます。</p>
16	<p>今からの事業で多くの人が集まるよう工夫実践し、継続するよう官民一体となって活動する、私も率先して参加し、楽しく活動したいと思う</p>	<p>よろしくお願いたします。</p>
17	<p>構想の中身がシニア向けだけになっている。子どもたちもわかるような内容のものをつくったらどうか。</p>	<p>作成を検討します。内容についてアイデアをいただけるとありがたいです。</p>

6 具体的な組織運営、進め方

1	分科会を作ったら良い。
2	ジャンル別に班を分ける。(例:自然・文化・歴史)
3	ジャンル別にする。それぞれ得意分野の中で活動することが出来る。
4	ジャンル別、地域別の小グループで(3,4人)で自由に討議するのがいい。
5	ある程度、総論を討議したら分科会に分かれる必要がある。誰が何に興味があるのか分からないので非常に話しにくい面がある。
6	活動の範囲を決めた方がよいのではないか。(例1:趣味 2:得意、専門的)
7	楽しく活動するため週別、曜日別、年齢別、地区別で会合したい。
8	自然・歴史・文化それぞれで立ち上げて後で結びつける。
9	「自然」「文化」「歴史・史跡」と3つのグループに分けて、活動する。各グループから2~3名の代表を選出し組織の運営にあたる。(企画部)
10	半年間位はみんな一緒に。その後は1ヶ月ごとに自然、文化、歴史などのグループに。
11	自然、史跡、文化3つをまとめた年間スケジュール作成。
12	自然、史跡、文化各グループより1,2名世話役を選出。
13	活動する為には連絡場所、お世話役が必要。(事務局)
14	まとめ役、リーダーの中心になる人材グループ分け。連絡係りなど選出、育成。
15	運営組織は区民(7名)+役所担当(3名)くらいが適当。区民(7名)はいかなる団体にも所属しない人が望ましい(エゴがでないよう)。
16	推進会議の組織の形は、事務局と全体会議があり、全体会議の下に準備分科会(歴史、自然、文化、その他からなる)、学芸員養成準備会、ネットワーク準備会からなる準備会議とする。全体像を見据えながら同時並行で考える方が、スピードとアイデアが生まれる。議論していくうちに必然的に関連づく。
17	全員が会長、議長、またはボスとなるつもりでピラミット型ではなく有機体型に。
18	推進団体はよかると案内人を中心に各校区から補強。
19	ある程度の組織の形は必要であるが、まず何をするか、それは誰がやるのかから組織が型つくられるのではないかと考える。
20	夜間の2時間位の会議で推進できるか疑問。本格的な協議では参加人員をしばり、協議時間を延ばして話し合う必要がある。
21	17年度は事業をしばって試験的に行い、その結果を検討して本格的事業に取り組むべきではないか。
22	西区全体で一気に、というのは、難しいので、モデルケースをつくり試行した方がいい。
23	情報の収集の手段、方法、検討をする。
24	ボランティアメンバー内での勉強会の実施。
25	勉強の場をもうける。
26	西区全体を知る勉強。
27	郷土の歴史の勉強をして説明できるようにする。
28	グループがしたいと思う事に詳しい方の協力を受ける。
29	ボランティアの服装を揃え一目でわかる様に。参加者の安全を第一にわかりやすい説明。

7 具体的な事業アイデア

1	会員一人一人が宝についての構想を発表する。
2	史跡への道標作りをしたい。ハード(道標板作り)は市で設置等労力はボランティアが。
3	部門別に各地にある「宝」の一覧表を(解説、管理者入り)
4	各地区ごとの散策マップの作成、博物館Webの開設
5	博物館めぐり散策会の開催
6	西区全体の名所旧跡や伝統行事等を紹介するビデオを作成する。
7	民俗行事等をビデオにして保存する。
8	民俗芸能発表会の開催(西区文化祭の一環)
9	遺跡の保存への協力。
10	遺跡の公園化への基盤づくり。
11	自然破壊につながることは極力避ける。田んぼの温存、山林の保護。
12	景観美化(清掃)活動をする。
13	アダプトプログラムを取り入れてはどうか。
14	まるごと博物館案内所を区役所内に設置する。
15	西区文化財展を市博物館で開催し、指定文化財を展示する。(飯盛神社だけでも、狛犬、装飾台付き子持ちはそうなどがある)
16	小戸公園一帯を神話のふるさととして博物館か地域資料館を建設し、文化財や伝統工芸品の展示、町の変遷のパネル写真の展示、区内の歴史や名所旧跡の紹介、農業、漁業、商業の変遷の紹介、西区の伝説、伝承、民話等の紹介などを行う
17	現在行われている小戸大神宮大祭を区民全体で盛り上げる。
18	小戸公園一帯に花と緑を植樹する。
19	小戸公園内に音楽堂を建設する。
20	ヨットハーバー、スポーツ広場、資料館、音楽堂等の複合施設に。(小戸公園)
21	西区祭りを小戸公園で開催してはどうか。
22	小戸大神宮、元寇防塁、壱岐神社、一の宮神社、二の宮神社、白鬚神社、長垂山等、アワギ原(今津湾)の歴史探訪ツアーの企画推進。

8 その他

1	今後、会合を重ねるごとに、書類が多くなるので、綴じ込むファイルの配布が必要である。
2	市民の宝(ボランティア活動)を市政だよりで取り上げて欲しい。市政だよりのページ数を増やしてでも。
3	ネット配信について市政だより等見たくなる工夫。
4	小戸公園に管理事務所の設置。
5	小戸公園は現在、治安が悪化し、小学生一人では立ち入れない危険地域に指定されている。
6	会費制で一度は飲みましょう! ボランティアさん同士の輪づくり。